

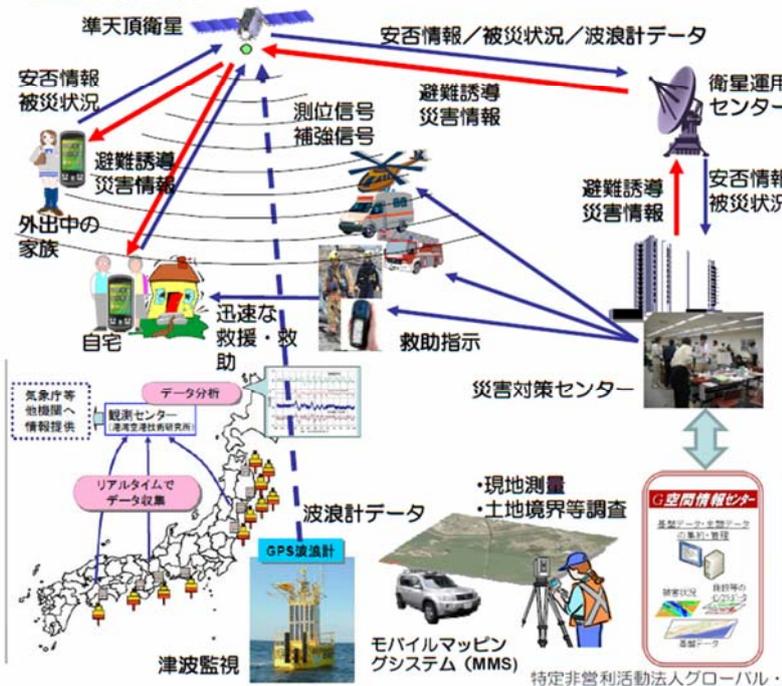
【参考1】準天頂衛星の防災機能を利用したシステムの構築について

出典：「準天頂衛星の防災・測地機能を利用する社会システムの構築」より
(特定非営利活動法人 グローバル・コロキウム)

東日本大震災復興プロジェクト

準天頂衛星の防災機能を利用する社会システム整備に向けた関連組織との連携準備事業

目的 準天頂衛星の防災機能を利用する社会システムの構築にあたっては、計画・実施中の復旧・復興事業に横通しと連携を図り、総合的で効率的な推進を図るため、関連諸機関との連携準備事業を始める必要があります。



課題認識

- ◆準天頂衛星の防災機能を最大限に利用するためには気象、地震、自治体情報システムなどの連携が不可欠です。
- ◆このために現時点から先行的に準天頂衛星を利用する社会システムの構築に着手する必要があります。

期待される効果

- ◆テーマ別にワーキンググループを設置して社会ニーズと技術開発を結びつけます。
- ◆準天頂衛星のサービスインを目的に関連組織の調整と利用促進を働きかけます。

スケジュール・予算

- ◆平成23年度
 - ・省庁間の調整と連携
- ◆平成24年度
 - ・事業および関連組織の調整と連携
- ◆平成25年度
 - ・自治体との調整と連携

【参考2】新潟県中越沖地震におけるGISの活用

(例) 通水復旧図

- 7.20~7.31 復旧するまで毎日更新 → 災害対策本部会議での状況把握に活用
- この他にも、地震被害状況、復旧対応状況などについて、GISを活用して、約200種類の電子地図を作成

